

様式第3号(第12条関係)

会議録

会議の名称	令和5年度第1回吉川市歯科口腔保健推進協議会
開催日時	令和5年8月3日(木) 午後1時30分から午後2時20分まで
開催場所	吉川市保健センター 母子保健指導室
出席委員(者)氏名	伊達敬規委員、戸張英男委員、鈴木薫委員、岩本洋子委員、 程田浩司委員、山口剛介委員、石田和親委員、小林和雄委員
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	健康増進課 課長 互英久 健康増進課 課長補佐兼健康づくり支援係長 鈴木忍 健康増進課 健康づくり支援係保健師 志賀龍生
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 正・副会長選出 4 議事 (1) 歯科口腔保健の推進に関する法律と基本的事項について (2) 国・県・市の状況について (3) 第2次吉川市歯科口腔保健推進計画策定方針について 5 その他 【公開】
傍聴者の数	なし
会議資料の名称	1. 令和5年度第1回吉川市歯科口腔保健推進協議会次第 2. 資料1 歯科口腔保健の推進に関する法律と基本的事項 3. 資料2 国・県の状況 4. 資料3 吉川市の状況 5. 資料4 第2次吉川市歯科口腔保健推進計画策定方針(案) 6. 資料5 歯科口腔保健の推進に関するグランドデザイン 7. 資料6 吉川市歯科口腔保健の推進に関する条例 8. 資料7 今後の予定
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	鈴木薫委員、岩本洋子委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
	○正・副会長互選(会長:伊達敬規委員、副会長:戸張英男委員)
会長	○議事 はじめに、本日の会議録署名委員を鈴木委員と岩本委員に願います。また、本会議は、傍聴要領に基づき公開とし、傍聴を認める者の人数を5名とすることを報告する。 それでは、議事に入る。議事(1) 歯科口腔保健の推進に関する法律と基本的事項について、事務局より説明願いたい。
事務局	議事(1) 歯科口腔保健の推進に関する法律と基本的事項について ※資料1「歯科口腔保健の推進に関する法律と基本的事項」のとおり説明。
会長 委員 事務局 会長	意見や質問はあるか。 市の計画の期間を12年間とする理由は何か。 国の計画期間と合わせるためである。 他に質問等がなければ、議事(2) 国・県・市の状況について、事務局より説明願いたい。
事務局	議事(2) 国・県・市の状況について ※資料2「国・県の状況」、資料3「吉川市の状況」のとおり説明。 県については、直近の資料が公表されておらず、配布資料の最終評価欄が空欄になっているが、了承いただきたい。 国については、令和4年度に評価がなされ、コロナ禍の影響により評価できていない項目も多いが、評価できた項目では改善傾向が認められることなどから、歯や口腔の状態は向上していると評価しているようである。 当市の状況についてであるが、「人口」は令和4年度にそれまでの増加傾向から減少に転じ、若年者は減少、高齢者が増加の傾向となっており、この傾向は今後も続いていくものと思われる。 次に「要介護認定者数」については、65歳以上の人口の増加とともに増えている状況である。また「障害者手帳所持者数」については、精神障害者保健福祉手帳の所持者の増加が顕著となっている。 ライフステージ等に応じた取り組みについてであるが、「妊娠期」は、母子健康手帳の配布やパパママ学級の際に歯科口腔保健の重要性についての啓発を行っており、妊娠届出数は年々減少しているが、パパママ学級はコロナ禍でも比較的多くの方の参加があった状況である。
会長	検診等に関しては良い数字が出ており、これをどう維持していくかと

	<p>ということにも関わってくるが、要介護認定者や障害者手帳所持者が増えている状況について伺いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>身体障害者手帳所持者はやや減っているが、精神の所持者が増えている。療育手帳を取る方も多いが、手帳は取っていないものの、療育に不安があるという家庭もかなり増えている状況である。</p>
<p>委員</p>	<p>要介護認定者については、いわゆるボリュームゾーンである団塊の世代が75歳を迎え、介護が必要になってくるという状況であり、あと数年は、この傾向が続くものと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>子どものむし歯が減っているようだが、普段の診療から感じることはあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>フッ素で虫歯を予防するという知識を持つ保護者が多くなっている。保健センターで実施するフッ素塗布の参加者は減っているが、乳幼児検診の際、フッ素でむし歯予防をしているという方が増えている。</p>
<p>副会長</p>	<p>子どもの頃からのむし歯予防が大切ということで、歯に関心を持つ方が多くなっており、かかりつけの歯医者に行ってフッ素を塗布したりしている。吐き出しができない小さい子の場合には、歯みがき粉を使わない人も多いが、歯みがき粉を使う量が大事だということを検診の際にお知らせしている。</p>
<p>会長</p>	<p>三郷市では18歳まで医療費が無料になっている。高校卒業までは診療を受けやすいような取り組みを市にもお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>学校現場ではコロナ禍を過ぎ、給食後の歯みがきを再開している。例年どおり、歯科衛生士による歯みがき指導や歯科健診後の治療勧告を行っていく。</p>
<p>委員</p>	<p>「8024よい歯のコンクール」について、以前は「8020」と言っていた時期もあったと思うが、最近、変わったということか。</p>
<p>委員</p>	<p>「8020」より上を目指そうということで、80歳で24本という意味の「8024」を吉川版として作ったものであり、80歳で20本以上あればコンクールに応募できる。</p>
<p>委員</p>	<p>国保年金課としても、被保険者に対し、歯の健康について啓発を行っているが、吉川市が県平均を上回る良い状況となっているのは、これまでの取り組みの成果と捉えてよいのか。</p>
<p>会長</p>	<p>これまでの成果だと思うが、さらにもう一歩次に行きたいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>去年と一昨年は集団健診会場での歯科検診は実施されなかったが、今年は実施され、受診して、むし歯の発見に至った。受診しなければ、むし歯を発見できなかった。</p>
<p>会長</p>	<p>早期発見、早期治療のためには集団健診等は重要になってくると思う。歯科の二大疾患はむし歯と歯周病であり、全員が検診を受けられるような環境づくりが必要だと感じている。</p>

委員	<p>小・中学校の歯みがき指導について、吉川市はすべての学校で小1、小5、中2を対象に歯みがき指導や染め出しを行って、歯肉炎や歯周病の話をしている。埼玉県内の歯科衛生士会の東部ブロック内では、すべての小中学校でそういった指導をしているのは吉川市だけである。小学生の頃にきちんと歯みがきができていないと、大人になって歯肉炎や歯周病に至ることが多い。小学生の時から歯みがき指導をすることは、とても役立っている。</p>
会長	<p>吉川市では、成人や高齢者には検診を行い、幼児や学童については歯みがき指導を進めており、今後もぜひ継続していきたい。</p> <p>他に質問等がなければ、議事（3）第2次吉川市歯科口腔保健推進計画策定方針について、事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>議事（3）第2次吉川市歯科口腔保健推進計画策定方針について</p> <p>※資料4「第2次吉川市歯科口腔保健推進計画策定方針（案）」のとおり説明。</p> <p>計画策定にあたり、3つの方針を案として提示させていた。1点目と2点目は、歯科口腔保健の推進に関する法律や吉川市歯科口腔保健の推進に関する条例、その他の国や県、市が定める関連する計画等との整合に配慮することを内容としている。3点目は、市の現状を踏まえつつ、可能な限り国の目標値の達成を目指す計画にしようとするものである。</p> <p>具体的な計画の内容は、歯科口腔保健の推進に関するグランドデザインを参考にしながら、現在の市の計画の構成を基本としてはどうかと考えている。</p> <p>来年度から新しい計画となるが、歯科医師会としても色々と考えている。日頃、歯科衛生士の不足、マンパワーの不足を感じており、そういった点も解消したいと考えている。</p> <p>他に質問等がなければ、以上ですべての議事が終了したので会議の議長職を終わらせていただく。</p>
<p>○その他</p> <p>※資料7「今後の予定」のとおり説明。</p> <p>第2回吉川市歯科口腔保健推進協議会の開催日程</p> <p>令和5年10月4日（水）午後1時30分から</p>	
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 5年 8月30日</p> <p>署名委員 岩本 洋子 署名委員 鈴木 薫</p>	